



津和野町サイン整備計画報告書

目 次

1. サイン計画の基本的な考え方	
目的・効果	1
サイン計画の構成	2
2. サインデザイン	
コンセプト／基本デザイン	3
ウェルカムサイン	4
総合案内サイン	5
対車両サイン	6
対歩行者サイン	9
現在地サイン	12
解説サイン	13



1. サイン計画の基本的な考え方

目的・効果

統一的なサインによる津和野らしさの表現・景観の向上
町内の複数の観光資源に関しての回遊性の向上・活性化

現在、津和野町には、公的施設などへの誘導案内サインが設置されていますが、統一性に欠け、景観への配慮がなく津和野らしさを出すことができていません。

2012年は古事記編纂1300年を迎え、津和野町への来訪者の増加も考えられ、津和野を分かりやすく案内し、津和野の魅力を伝えることが重要となります。

また、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点からの見直しが必要となり、英語表記、ピクトグラム表記が必至となります。

以上のような背景から現状を見直し、快適な移動空間の整備や、景観の向上、歴史文化遺産の顕在化など津和野らしさの魅力の充実を図り、来訪者、町民、だれもが分かりやすく、見やすいサイン整備を目的とします。

パンフレットやWEBなどと連携した統一した情報提供をすることも重要で、これにより津和野への興味をもってもらうことができます。

	目 的	効 果
ウエルカムサイン	ドライバーへのイメージ伝達	津和野に気づいてもらう 津和野のイメージを覚えてもらう
誘導サインA 対車両サイン	ドライバーへの方向伝達	津和野のイメージを覚えてもらう 主要観光施設を訪れてもらう
誘導サインB 対歩行者サイン	歩行者・ドライバーへの方向伝達	津和野のイメージを覚えてもらう 効果的な誘導案内
総合案内サイン	案内情報を伝達	津和野を具体的に知ってもらう 主要観光施設を訪れてもらう
パンフレット メディア	津和野町全体を紹介	津和野を知って興味を持って 訪れてもらう
人的ガイド	案内・解説	より詳しく知ってもらい リピーターを増やす
街並み	津和野らしさの演出	城下町らしい雰囲気を感じてもらい、印象を残す



1. サイン計画の基本的な考え方

サイン計画の構成

現在地確認の徹底と目的地へのスムーズな移動案内・誘導
町民と行政の協力体制
ハード及びソフト事業との連携

景観へ充分配慮をし、来訪者が見つけやすく分かりやすいサイン整備とする。

来訪者への情報提供として、誘導サインとパンフレットやWEB・観光客が多く集まる施設（道の駅・津和野駅・あいの広場など）と統一した情報提供が効果的となる。

効果を考えながら段階的にサイン整備を進めていく。

サイン整備

- ウエルカムサインによるイメージの伝達
- 観光客が多く集まる施設への総合案内サインの設置
- 効果的な場所への誘導サインの設置

「歴史的街並み景域」と「自然景域」に分けそれぞれにサインを定義

自然景域 その他の地域 → 誘導サインA 対車両サイン

- 通り名・地点名による現在地確認の徹底
- 主要観光施設への案内・誘導をピクトグラムなどをつかいわかりやすくスムーズにする
- 道の駅など駐車場スペースと案内誘導サインによるドライバーへの情報提供の場の整備

歴史的街並み景域 津和野駅周辺 → 誘導サインB 対歩行者サイン

- 通り名・地区名による現在地確認の徹底
- 案内システムにより、歩行者と自転車、バス、鉄道などとの繋がりをスムーズにする
- ソフト事業との連携でわかりやすさを向上させる
- 主要観光施設への解説サインの設置
- 地域住民による運営

津和野らしさをだす

- 玄関口でもある津和野駅・津和野駅前はさびれた雰囲気で来訪者にとってはがっかりしてしまう。駅舎の壁面をなまこ壁で統一し、津和野町出身の画家安野氏のかつて津和野藩の絵で装飾するなどして、訪れた人々にとって明るく楽しい雰囲気をしたい。
- 津和野駅周辺は、現状はどこにでもある観光地で面白みがない。なまこ壁などや色彩の統一により城下町らしい雰囲気を出したい。



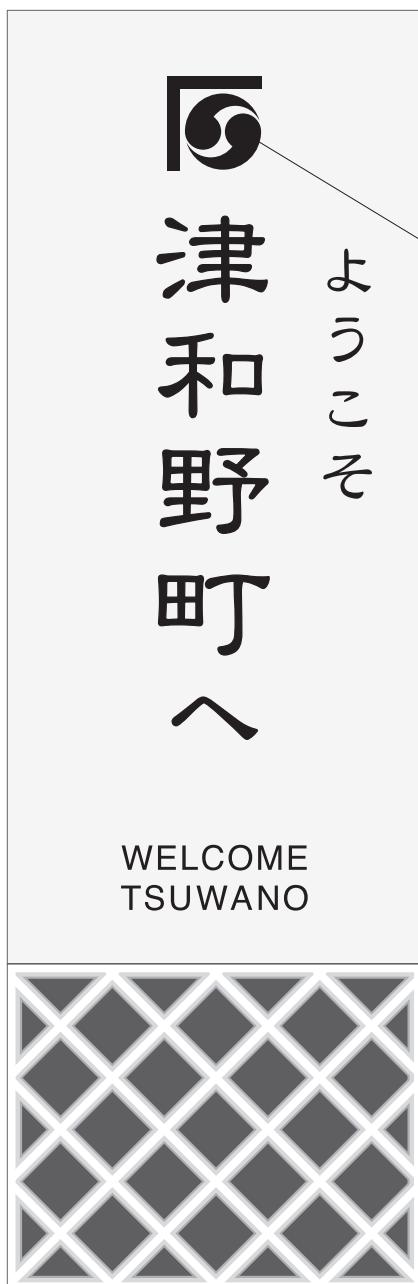
2. サインデザイン

コンセプト

城下町らしいサイン 津和野を印象づける

津和野のイメージといえば城下町ということでサインの基本は、なまこ壁と白壁をイメージさせるものとし、落ち着いた雰囲気で歴史的重みのあるデザインとします。

基本デザイン



津和野町マーク
主要道路沿いのサインに表示することにより来訪者に強く印象づける

基本書体：隸書体
日本的で歴史を感じさせ落ち着いた雰囲気

英文字・数字：Helvetica Regular

メインカラー



墨 すみ
(なまこ壁)



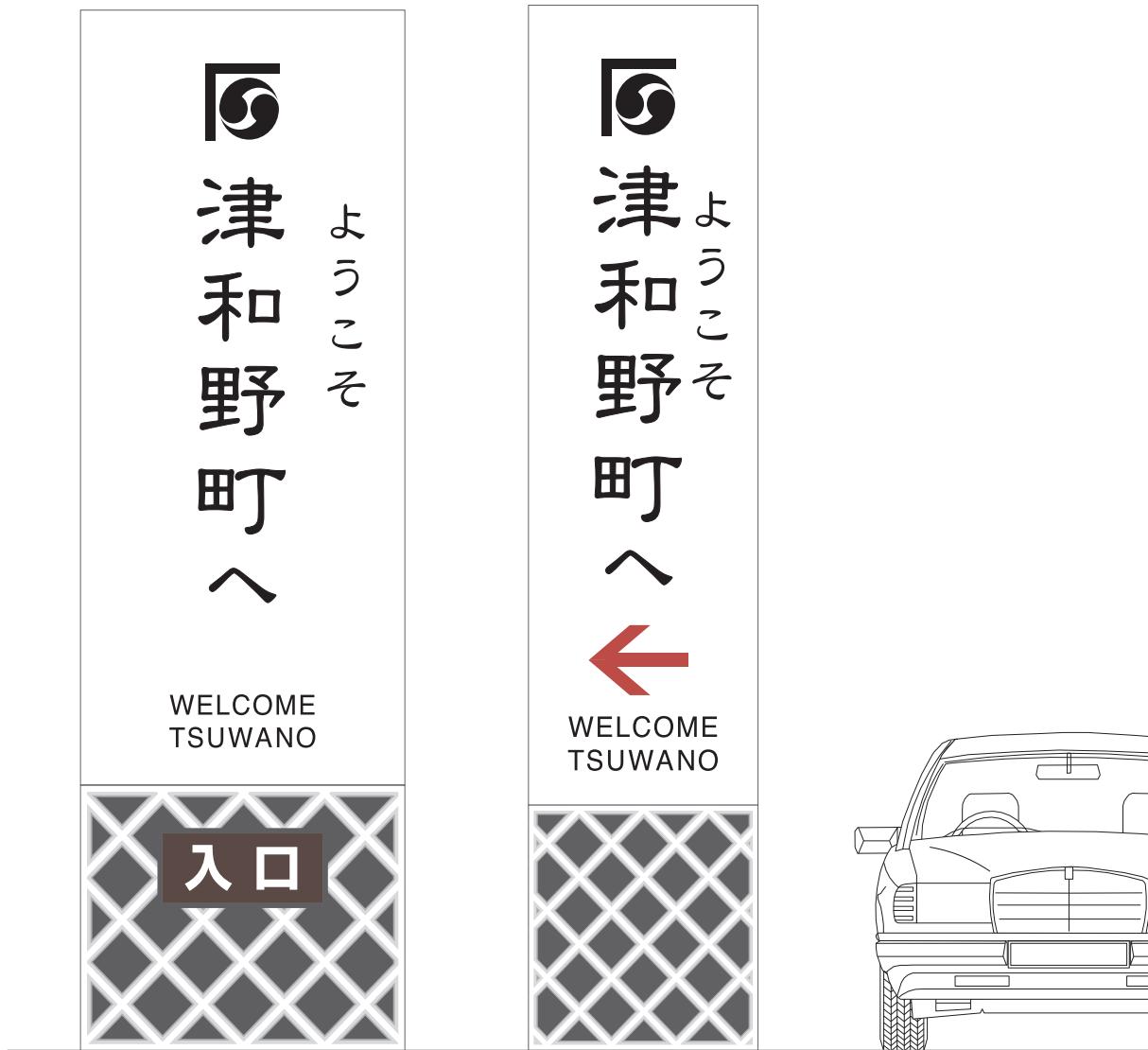
白練 しろねり
(白壁)



2. サインデザイン

W ウエルカムサイン(国道)

現在国道沿いに2基設置してあるが、古くなり来訪者を迎えるサインとしてふさわしくありません。津和野町としての統一感を出し印象づけるため、津和野と隣県・町境にもウエルカムサインを設置する必要があります。



サインは、津和野町景観条例に準ずる。



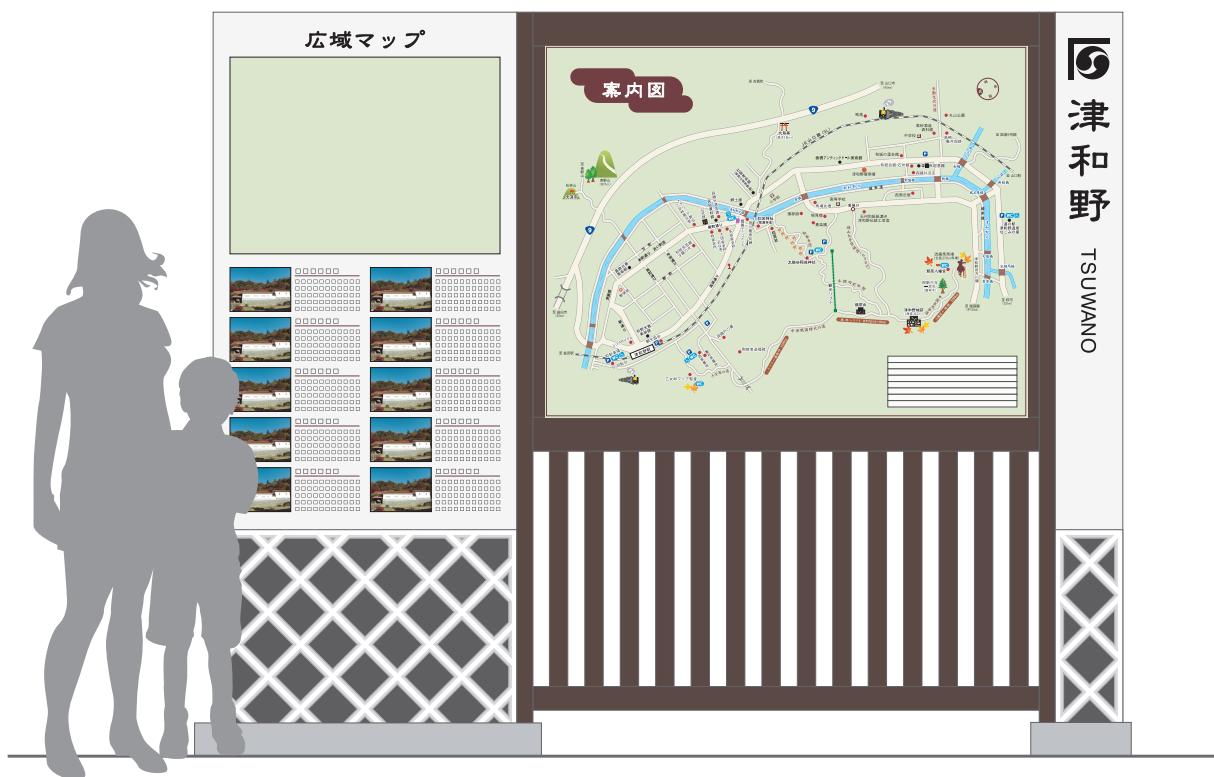
2. サインデザイン

I 総合案内サイン

人の集まりやすい主要な施設(道の駅・津和野駅・であいの広場など)に配置します。

パンフレットやWEBと連携したものとします。

主要施設は英語表記とピクト表記とします。



サインは、津和野町景観条例に準ずる。



2. サインデザイン

誘導サイン A (自然景観)→対車両サイン

津和野町は自然が多く同じ景色の道が続きます。ドライバーは地図やカーナビゲーション等の情報を持っている場合が多く、これらの情報と実際に走行している場所を一致させることが必要です。地点名や主要箇所の表示を整備し、現在地確認の徹底を図ります。誘導サインは基本サインを軸に整備し、景観に配慮した津和野らしさを出していきます。

ピクト表記などでわかりやすい表示とします。



- 中型: 方面・距離誘導サイン G1
 - ・ 主要道路

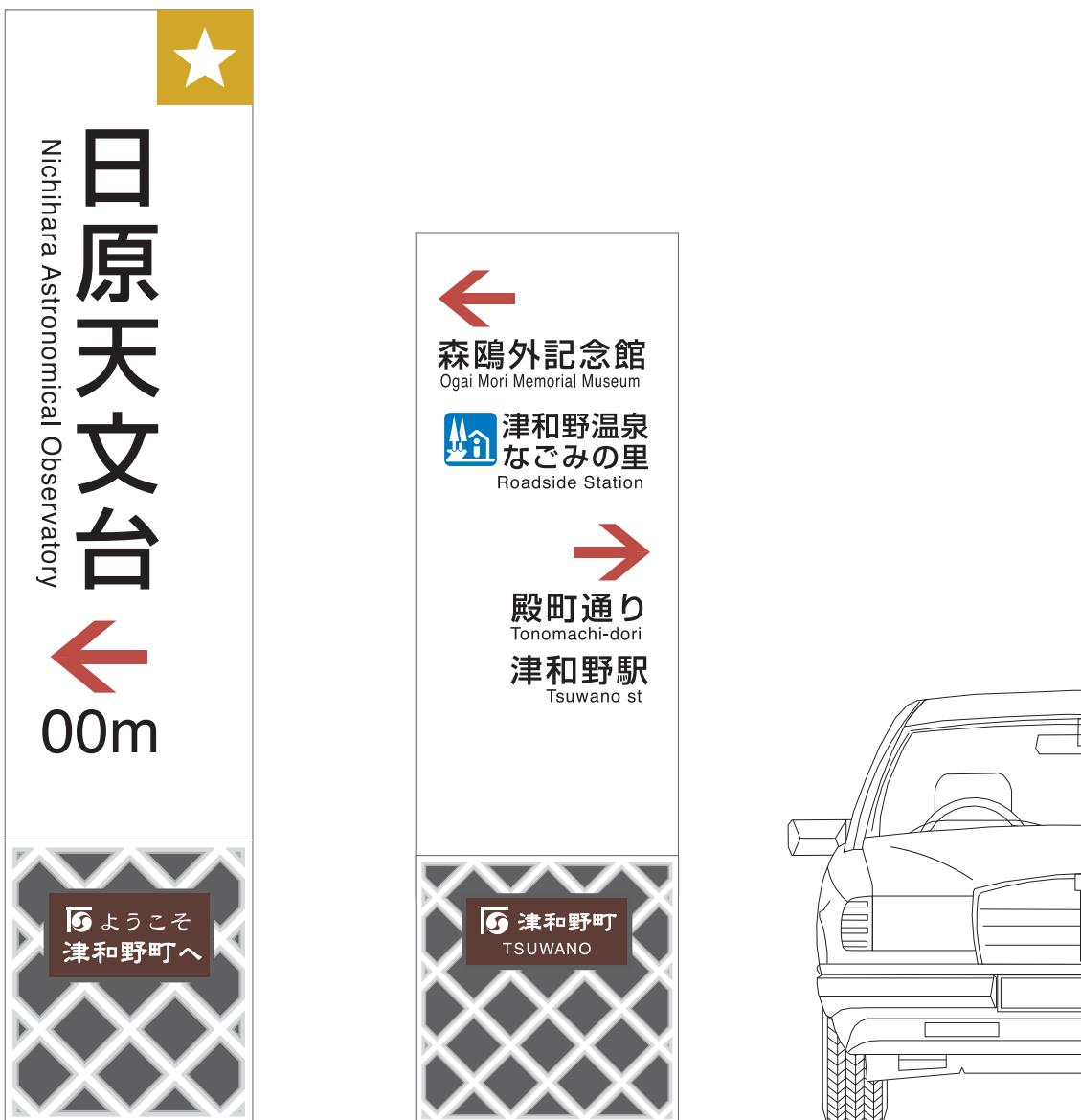
- 誘導サイン G2
 - ・ 既設国道サインに設置

サインは、津和野町景観条例に準ずる。



2. サインデザイン

誘導サイン A (自然景観)→対車両サイン



● 中型:誘導サイン G3

- ・主要観光施設への入口
- ・主要道路

● 中型:町中誘導サイン G4

サインは、津和野町景観条例に準ずる。

誘導サイン A(自然景観)→対車両サイン サイン設置計画箇所



2. サインデザイン

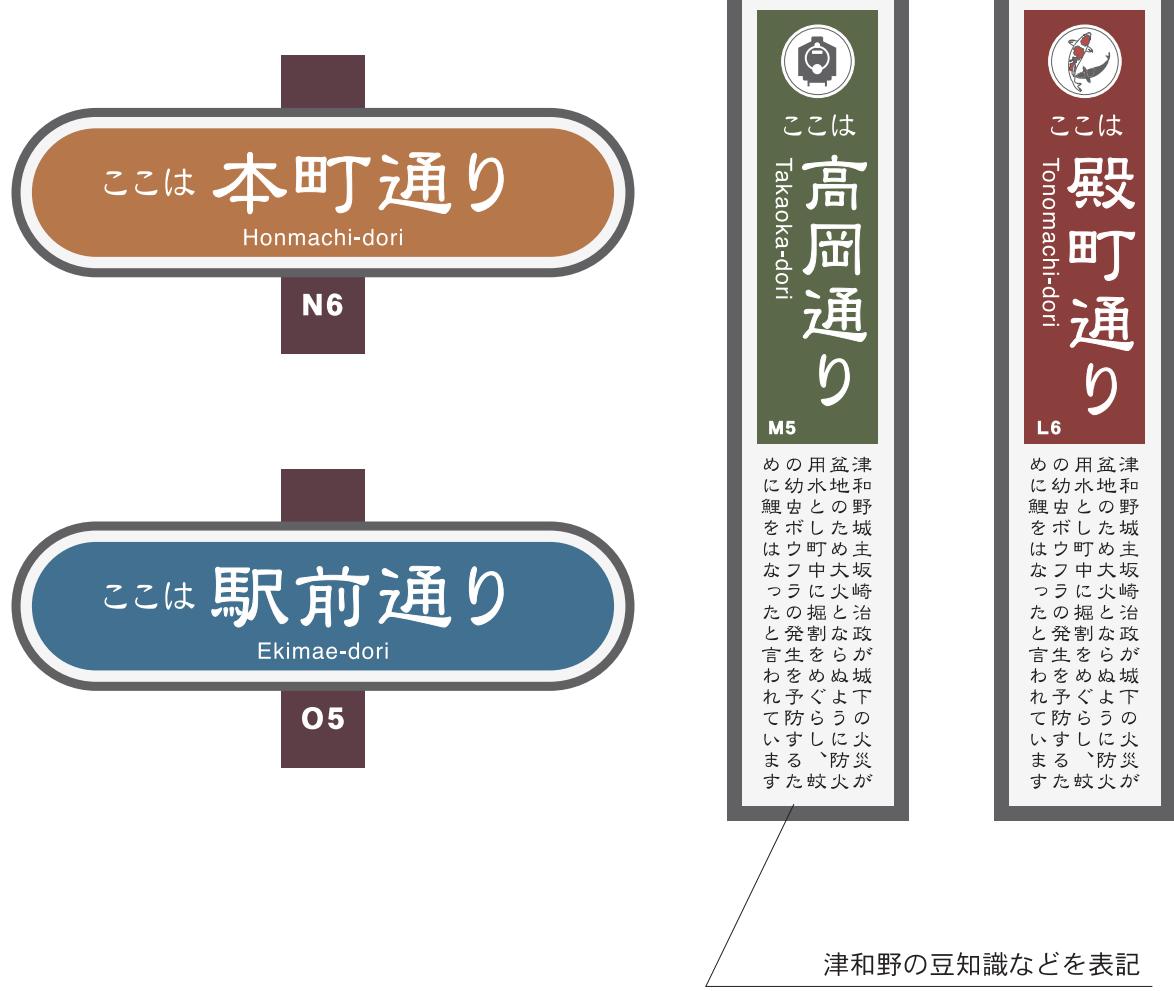
誘導サイン B (歴史的街並み景観)→対歩行者サイン

津和野駅周辺には様々な通り名が存在しており、これを積極的に表示し、案内・誘導のより所とします。

また各サインに森鷗外の方眼地図によるポイントを小さく表記し、現在地確認のもうひとつにより所とします。

店舗・町民が一体となってまちを魅力的なものにするため、サインの統一性や壁面をなまこ壁にするなどの町民の皆様の参加が不可欠です。

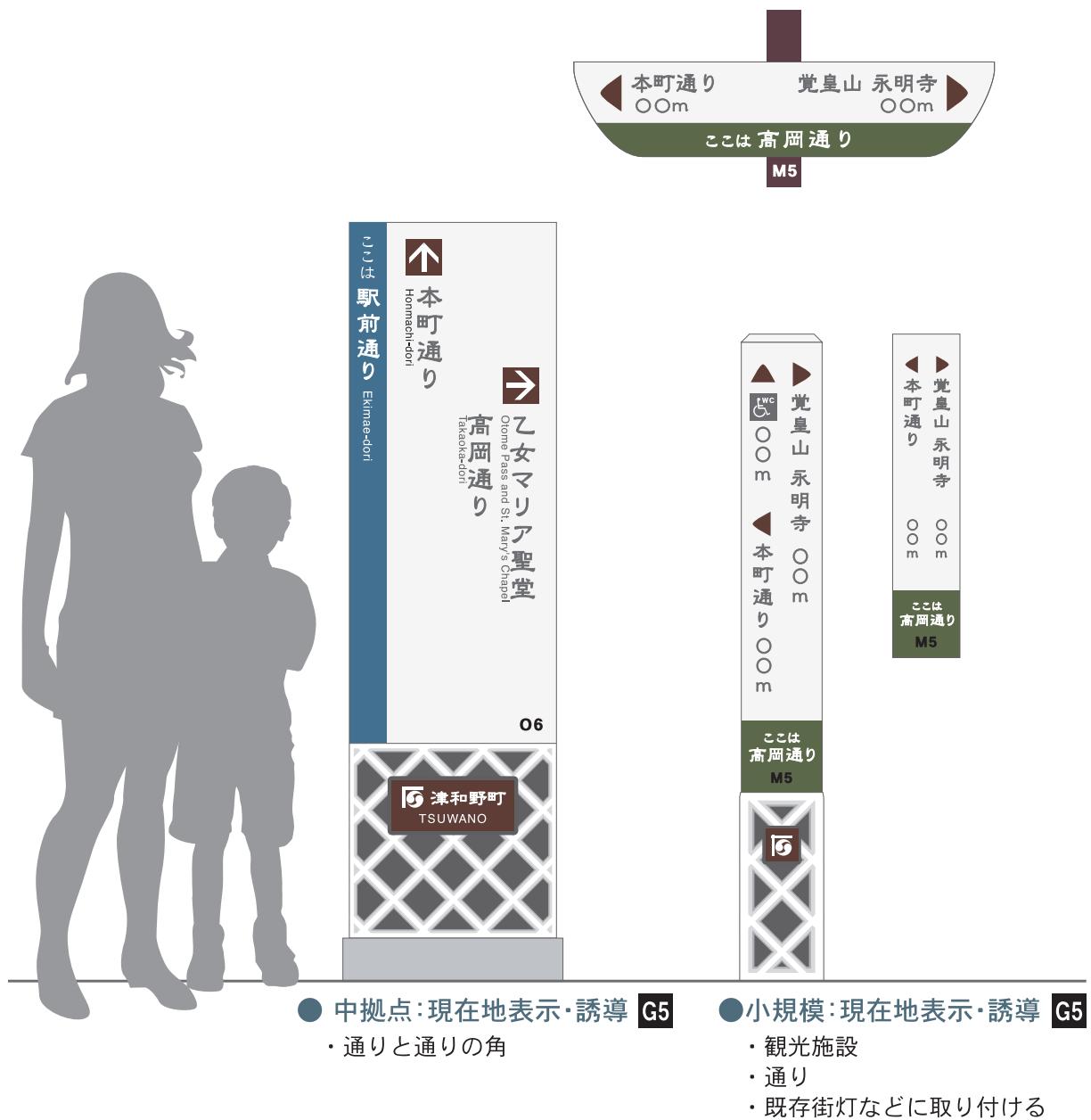
基本は日本語と英語表記とし、ピクトグラム表記を積極的に使用し、わかりやすくします。





2. サインデザイン

誘導サイン B (歴史的街並み景観) → 対歩行者サイン



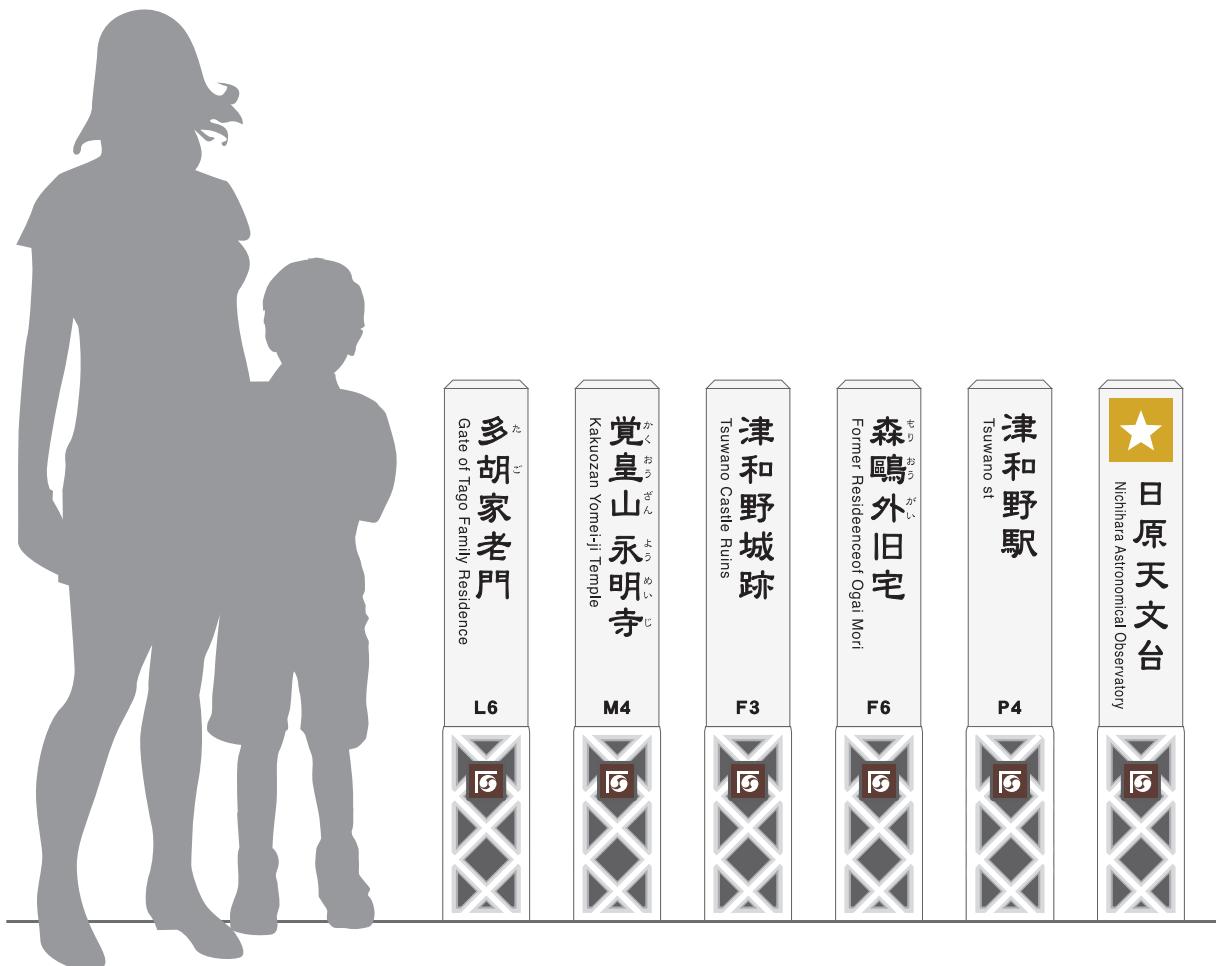
誘導サインB(歴史的街並み景観)→対歩行者サイン サイン設置計画箇所





2. サインデザイン

P 現在地サイン



サインは、津和野町景観条例に準ずる。

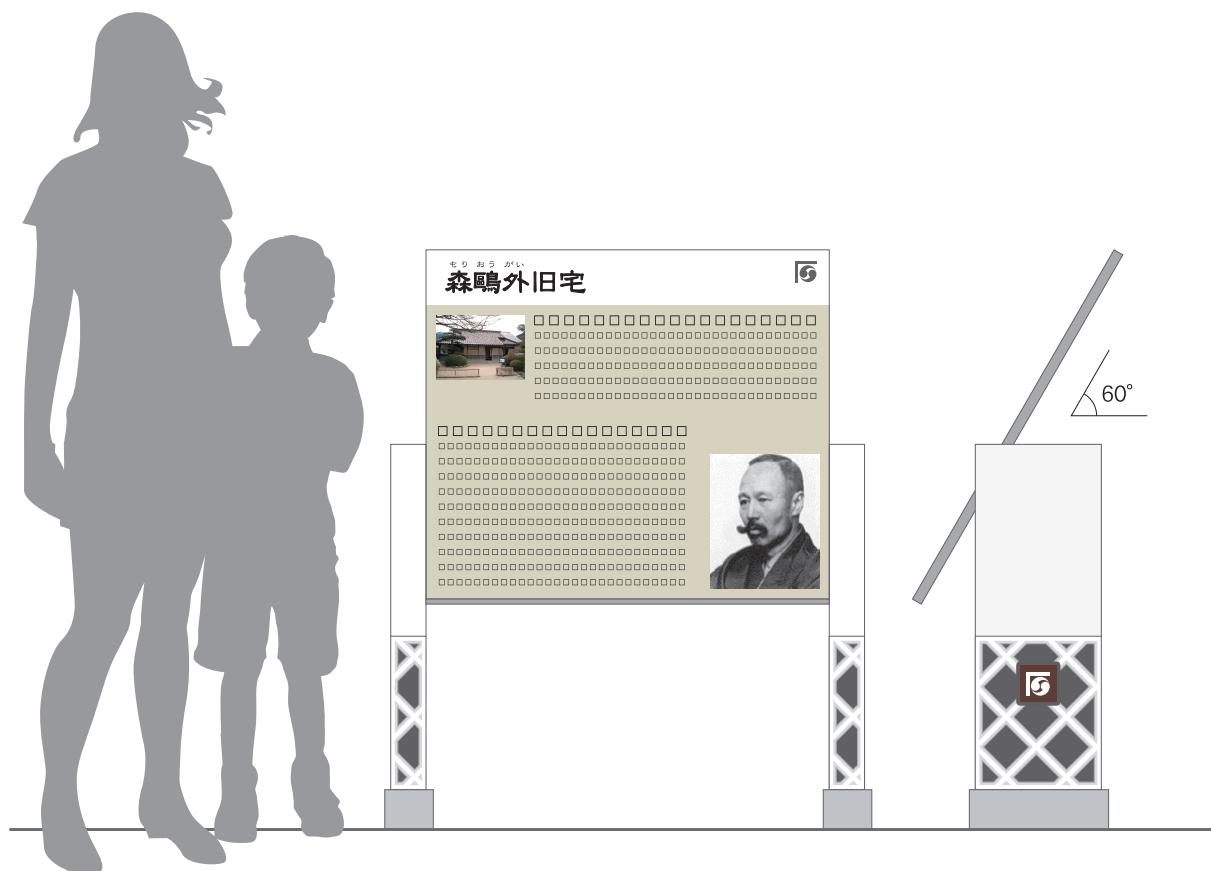


2. サインデザイン

E 解説サイン

主要観光施設に統一した解説サインを設置する。

解説表示面の高さと角度(60°)は、車いす利用者にも見やすいよう設定する。



サインは、津和野町景観条例に準ずる。